

日商産一発 第87号
2017年3月31日

LOBO調査 実施商工会議所 御中

日本商工会議所

LOBO調査（2017年3月分）の集計結果の送付について

先般実施いたしました標記調査の集計結果を下記の通りご報告いたします。
実施商工会議所各位におかれましては、本調査結果をヒアリング対象企業へ送付されるほか、会合等での資料として積極的にご活用くださるようお願いいたします。
なお、本調査結果（ブロック別概況部分を除く）につきましては、日商ホームページに掲載しておりますので、併せてご利用ください。
（アドレスは <http://www.jcci.or.jp/lobo/lobo.html> です。）

（本件担当） 産業政策第一部 小田・佐藤
TEL：03-3283-7630
FAX：03-3213-8716
E-mail:sangyo1@jcci.or.jp

商工会議所LOBO（早期景気観測） ——2017年3月調査結果——

○調査期間：2017年3月16日～23日
○調査対象：全国の423商工会議所が2979企業にヒアリング

<産業別回収状況>				<ブロック別回収率>	
調査産業	調査対象数	回答数	回収率		
建設	458	231	50.4%	北海道	45.6%
製造	720	370	51.4%	東北	56.9%
卸売	324	165	50.9%	北陸信越	41.2%
小売	689	310	45.0%	関東	51.5%
サービス	788	350	44.4%	東海	43.3%
合計	2979	1426	47.9%	関西	44.4%
				中国	48.7%
				四国	66.2%
				九州	38.4%

○調査項目：今月の売上・採算・業況等についての状況（DI値を集計）

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)
業況・採算：(好転) - (悪化) 売上：(増加) - (減少)

———【2017年3月調査結果のポイント】———

業況DIは、改善。先行きは回復の力強さ欠き、足踏み続く

3月の全産業合計の業況DIは、▲20.1と、前月から+3.9ポイントの改善。堅調な民間工事に加え、公共工事に持ち直しの動きが見られたほか、電子部品や自動車関連の好調な生産が全体を牽引した。一方、消費者の節約志向や人手不足の影響拡大を指摘する声が多く聞かれるなど、中小企業のマインドには依然として鈍さが見られる。

先行きについては、先行き見通しDIが▲19.5（今月比+0.6ポイント）とほぼ横ばいを見込む。インバウンドを含む春の観光シーズンの消費拡大や設備投資の増加、海外経済の回復に期待する声聞かれる。他方、消費の一段の悪化や人手不足の影響拡大、原材料・燃料価格の上昇による収益悪化などへの懸念から、中小企業においては業績改善に確信を持たない企業が依然として多く、業況感足踏みが続く見通し。

ブロック・産業別業況D I（前年同月比：2017年3月）

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全 国	▲ 20.1	▲ 9.6	▲ 12.8	▲ 24.2	▲ 40.5	▲ 14.7
北 海 道	▲ 22.0	▲ 12.0	▲ 25.0	▲ 11.1	▲ 56.0	▲ 10.0
東 北	▲ 27.0	▲ 8.7	▲ 21.9	▲ 41.2	▲ 41.2	▲ 22.9
北陸信越	▲ 27.0	▲ 20.0	▲ 12.5	▲ 40.0	▲ 37.5	▲ 35.5
関 東	▲ 15.0	▲ 13.2	▲ 2.8	▲ 23.2	▲ 34.9	▲ 8.5
東 海	▲ 13.5	0.0	▲ 7.3	▲ 33.3	▲ 44.4	▲ 4.2
関 西	▲ 25.5	9.1	▲ 20.5	▲ 28.0	▲ 43.9	▲ 29.4
中 国	▲ 22.7	16.7	▲ 22.6	▲ 8.3	▲ 52.0	▲ 17.6
四 国	▲ 29.0	▲ 40.0	▲ 34.6	▲ 40.0	▲ 15.4	▲ 26.1
九 州	▲ 12.0	▲ 6.7	0.0	0.0	▲ 50.0	4.2

ブロック・産業別業況D I（先行き見通し：2017年4月～6月）

上段：2017年3月時点

下段：2016年3月時点

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全 国	▲ 19.5	▲ 16.7	▲ 15.3	▲ 24.2	▲ 35.4	▲ 9.6
北 海 道	▲ 22.1	▲ 26.1	▲ 14.8	▲ 25.9	▲ 33.8	▲ 14.2
東 北	▲ 21.2	▲ 4.2	▲ 21.1	▲ 11.1	▲ 50.0	▲ 14.3
北陸信越	▲ 22.1	▲ 27.3	▲ 8.3	0.0	▲ 63.2	▲ 4.8
関 東	▲ 21.3	▲ 8.7	▲ 15.6	▲ 35.3	▲ 35.3	▲ 14.3
東 海	▲ 24.1	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 38.9	▲ 30.3	▲ 7.4
関 西	▲ 24.0	▲ 24.0	0.0	▲ 30.0	▲ 43.5	▲ 32.3
中 国	▲ 31.4	▲ 37.0	▲ 34.6	▲ 42.9	▲ 40.0	▲ 10.3
四 国	▲ 16.5	▲ 19.4	▲ 13.1	▲ 21.4	▲ 31.7	▲ 3.8
九 州	▲ 19.9	▲ 25.4	▲ 9.8	▲ 23.1	▲ 28.6	▲ 17.1
全 国	▲ 20.0	▲ 16.0	▲ 18.2	▲ 33.3	▲ 48.1	▲ 4.2
北 海 道	▲ 22.0	0.0	▲ 22.2	▲ 37.5	▲ 33.3	▲ 19.6
東 北	▲ 20.0	▲ 4.5	▲ 15.4	▲ 16.0	▲ 31.7	▲ 24.2
北陸信越	▲ 20.5	▲ 26.3	▲ 2.7	▲ 13.6	▲ 31.8	▲ 26.5
関 東	▲ 17.7	▲ 16.7	▲ 12.9	▲ 33.3	▲ 33.3	5.9
東 海	▲ 14.1	▲ 20.0	▲ 7.7	▲ 25.0	▲ 25.0	0.0
関 西	▲ 21.2	▲ 57.1	▲ 23.1	▲ 20.0	▲ 15.4	▲ 4.3
中 国	▲ 13.2	▲ 38.9	0.0	▲ 10.0	▲ 19.2	▲ 4.2
四 国	▲ 20.8	▲ 6.7	▲ 26.9	▲ 27.3	▲ 41.7	0.0
九 州	▲ 34.6	▲ 50.0	▲ 29.6	▲ 38.5	▲ 56.5	▲ 11.1

※「先行き見通し」は当月に比べた向こう3カ月の先行き見通しD I（以下同じ）

産業別にみると、今月の業況D Iは前月に比べ、小売業でほぼ横ばい、その他の4業種で改善した。

各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「東京オリンピックと再開発関連の発注が多く、売上は改善した。各社で技能工を中心に人材の取り合いとなっている。人手不足に対応するため、IoTを用いた生産性向上を検討している」（一般工事業）、「補正予算により防災関連を中心とした公共工事業の発注が始まった。受注を確保できたため、当面は売上の安定が見込める」（土木工事業）、「業務量に比べて人手が足りず、外注依存度が高まっている。外注費増加に伴う、採算悪化により、業況は改善しない」（塗装工事業）

【製造業】「引き続き取引先の輸出が好調で、売上は安定しているが、原油価格や鉄鋼などの原材料価格が上昇傾向にあるため、採算は改善しない」（自動車部品製造業）、「販売先の小売店で冬物衣料が売れず、大量の在庫を抱え込んでしまった。春物衣料の動きも悪く、売上の改善は見込めない」（衣料品製造業）

【卸売業】「海水温の上昇などによる漁獲高の減少が深刻で、供給不足となり、売上が悪化した」（水産物卸売業）、「原材料となる銅や原油価格の持ち直しを背景に、価格転嫁が進み、売上が回復し始めた」（ケーブル・化成品卸売業）

【小売業】「男性客が選びやすいような売場案内や情報発信に努めるなど、ホワイトデー商戦に力を入れ、成果を得たものの、消費者の節約志向は根強く、婦人服や高額品販売に苦戦し、全体の売上は前年に比べ減少」（百貨店）、「来店客数も多く、化粧品の上は増加している。先月のプレミアムフライデーでは、女性社員の姿が期待したほど多くはなかったため、今後、地域の企業にプレミアムフライデーが浸透することを望む」（化粧品小売業）

【サービス業】「売上の低迷が続いていたが、学校や企業の送別会の予約が出始めたことで、売上に若干の回復の兆しが見られる」（飲食業）、「貨物量は多く、売上は増加しているが、ドライバー不足ですべての注文を受けられない。大手運送会社が運賃改定を実施すると報じられたため、当社も運賃改定を視野に入りたい」（運送業）、「2月の大雪の影響が残り、宿泊予約が低調のままとなっている。地域全体の観光客数も減少が続いている」（宿泊業）

【業況についての判断】

○ 業種別では、建設業は、住宅投資の一服感を指摘する声があるものの、オリンピック関連工事の影響もあり、改善。地域によりばらつきがあるが、補正予算による公共工事の受注増の動きも見られた。製造業は、改善。電子部品、自動車関連が高水準で推移したほか、食料品や鉄鋼関連も、全体を押し上げた。他方、原油などの燃料や原材料の仕入れ価格上昇を指摘する声も聞かれる。卸売業は、食料品や建築材料関連が好調に推移し、改善。ただし、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。不漁により水産物の単価や取扱量が不安定との声も聞かれた。小売業は、客数増加により堅調に推移するインバウンド需要の下支えがあった一方、衣料品を中心に消費者の節約志向を指摘する声が多く、ほぼ横ばい。サービス業は、ソフトウェア業の受注が好調なほか、インターネットショッピングの配送需要拡大に加え、引越しシーズンの需要が増加した運送業が押し上げ、改善。他方、人手不足感が強まる中、大手運送会社による料金改定、サービス内容見直しの影響を注視するとの声も聞かれた。

○ 向こう3カ月（4～6月）の先行き見通しは、全産業合計の業況DI（今月比ベース）が▲19.5（今月比+0.6ポイント）と、ほぼ横ばいの見込み。

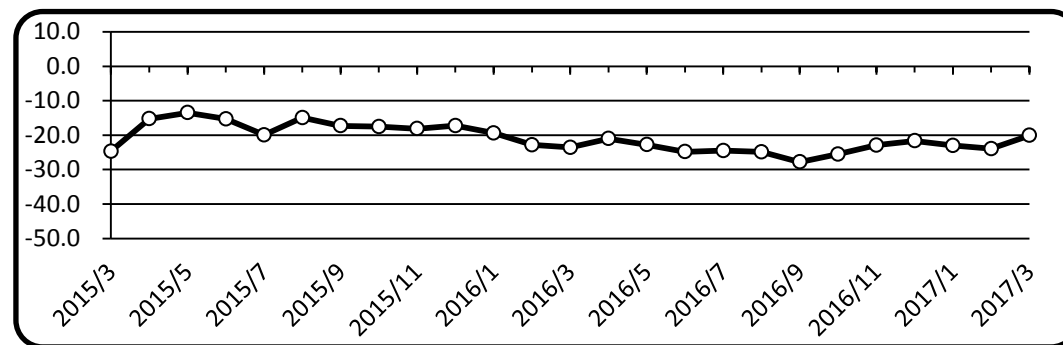
○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、卸売業は横ばい。改善を見込む小売業、サービス業は「悪化」から「不変」への変化、悪化を見込むその他の2業種のうち、製造業は「好転」から「不変」への変化が主因であり、実体は横ばい圏内の動きとなる見込み。

業況DI（前年同月比）の推移

	16年			17年			先行き見通し 4～6月
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
全産業	▲25.5	▲22.9	▲21.7	▲23.0	▲24.0	▲20.1	▲19.5
建設	▲12.9	▲11.0	▲12.7	▲16.7	▲14.6	▲9.6	▲16.7
製造	▲18.1	▲18.2	▲19.6	▲13.9	▲17.1	▲12.8	▲15.3
卸売	▲29.0	▲26.4	▲22.5	▲25.4	▲32.5	▲24.2	▲24.2
小売	▲47.6	▲38.5	▲38.2	▲42.0	▲40.4	▲40.5	▲35.4
サービス	▲20.7	▲20.3	▲14.6	▲18.5	▲18.6	▲14.7	▲9.6

※「先行き見通し」は当月に比べた向こう3カ月の先行き見通しDI

《業況DI（全産業・前年同月比）の推移》



【売上（受注・出荷）についての判断】

○ 売上面では、全産業合計の売上DIは▲16.2（前月比+5.6ポイント）と、改善。産業別にみると、建設業は、住宅投資の一服感や人手不足による受注機会の損失を指摘する声はあるものの、オリンピックや再開発関連などの民間工事が堅調に推移したほか、一部の地域では補正予算による公共工事の受注増も見られ、ほぼ横ばい。製造業は、好調な電子部品や自動車関連に加え、食料品や鉄鋼関連も寄与し、改善。卸売業は、食料品や農畜産品などの引き合いが伸びたほか、建設業に牽引された建築材料関連が全体を押し上げ、改善。小売業は、不要な支出を控える消費者の動きを指摘する声がある一方、客数の増加によるインバウンド需要の底堅い動きを受け、改善。ただし、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。サービス業は、インターネットショッピングの拡大に加え、春の引越しシーズンにより需要が増加した運送業や送別会等の動きが見られる飲食業が寄与し、改善。一方で、幅広い業種から、人手不足に伴う受注機会の損失などによる影響を指摘する声も聞かれた。

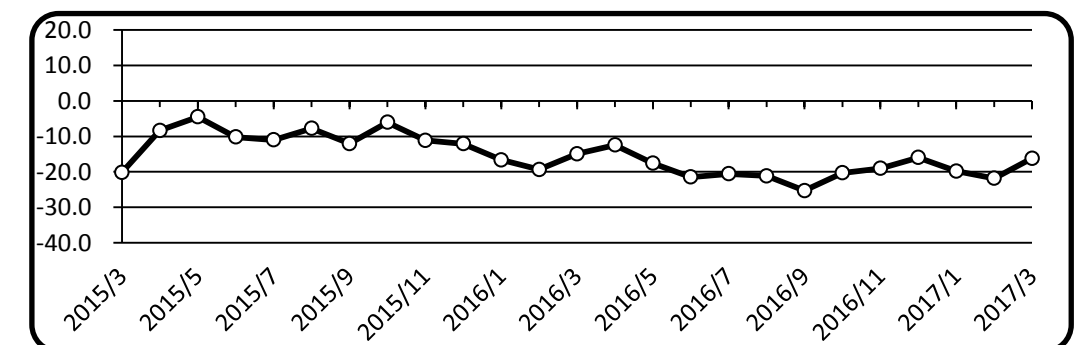
○ 向こう3カ月（4～6月）の先行き見通しは、全産業合計の売上DI（今月比ベース）が▲15.3（今月比+0.9ポイント）とほぼ横ばいの見込み。

○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、製造業はほぼ横ばい。悪化を見込む建設業は、「好転」から「不変」への変化、改善を見込むその他の3業種も、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体はいずれも横ばい圏内の動きとなる見込み。

売上（受注・出荷）DI（前年同月比）の推移

	16年			17年			先行き見通し 4～6月
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
全産業	▲20.3	▲19.0	▲16.0	▲19.8	▲21.8	▲16.2	▲15.3
建設	▲10.3	▲8.8	▲8.5	▲14.7	▲8.9	▲8.2	▲15.9
製造	▲13.7	▲16.6	▲17.3	▲16.6	▲16.0	▲11.1	▲10.4
卸売	▲18.5	▲19.4	▲3.0	▲14.3	▲19.6	▲13.3	▲11.6
小売	▲39.3	▲31.9	▲35.7	▲38.7	▲38.9	▲37.1	▲31.6
サービス	▲18.2	▲16.6	▲8.0	▲12.1	▲22.1	▲9.8	▲7.8

《売上（受注・出荷）DI（全産業・前年同月比）の推移》



【採算の状況についての判断】

○ 採算面では、全産業合計の採算DIは▲17.4（前月比+4.3ポイント）と、改善。産業別にみると、建設業は、鉄鋼などの資材や燃料の価格上昇が見られたものの、収益確保のため受注案件を選別する動きが見られ、改善。施工単価の引き上げを検討しているとの声も聞かれた。製造業は、鋼材などの原材料や燃料の価格上昇が収益を圧迫しているとの声が聞かれる一方で、好調な電子部品や自動車などが採算好転に寄与し、改善。また、自動車関連からは引き続き、米国大統領の政策に対する先行き不透明感を懸念する声が聞かれた。卸売業は、改善。水産物の不漁により、単価や取扱量が不安定との声があるものの、農産物やその他の食料品、需要が伸びた建設材料関連で収益改善が進んだ。小売業は、客数の増加したインバウンド需要や、化粧品、食料品の底堅い動きを受けて、改善。ただし、「悪化」から「不変」への変化も影響したことに留意が必要。サービス業は、受注が好調なソフトウェア業や運送業が全体を押し上げ、改善。ただし、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。人手不足による受注機会の損失や人件費、燃料費の上昇が収益改善の足かせとの声は多い。

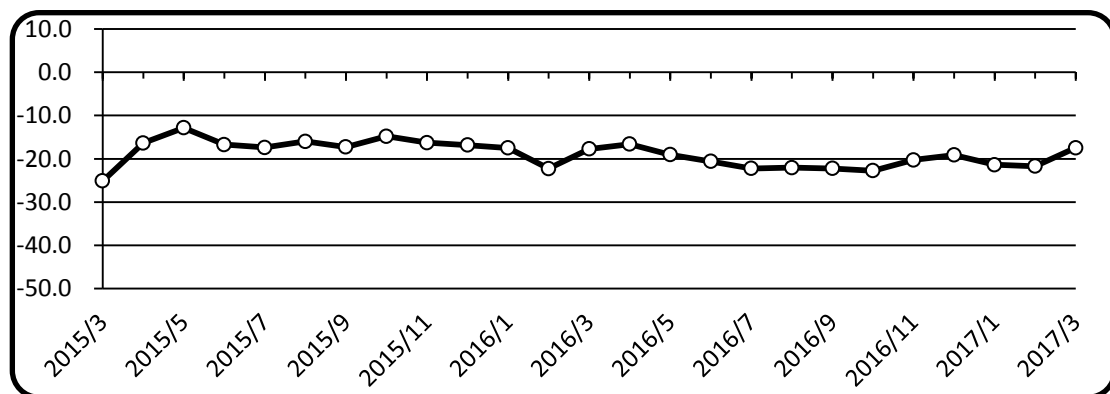
○ 向こう3カ月（4～6月）の先行き見通しは、全産業合計の採算DI（今月比ベース）が▲17.1（今月比+0.3ポイント）とほぼ横ばいの見込み。

○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、改善を見込む小売業、サービス業のうち、小売業は「悪化」から「不変」への変化、悪化を見込むその他の3業種も、「好転」から「不変」への変化が主因であり、実体はいずれも横ばい圏内の動きとなる見込み。

採算DI（前年同月比）の推移

	16年 10月	11月	12月	17年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
全産業	▲22.7	▲20.3	▲19.1	▲21.4	▲21.7	▲17.4	▲17.1
建設	▲14.7	▲10.5	▲15.3	▲16.4	▲14.1	▲9.1	▲15.8
製造	▲18.7	▲18.0	▲16.8	▲10.7	▲13.3	▲11.4	▲13.2
卸売	▲20.1	▲13.8	▲11.3	▲19.6	▲19.6	▲12.1	▲17.0
小売	▲39.6	▲35.3	▲35.0	▲40.7	▲38.1	▲33.4	▲30.6
サービス	▲18.8	▲18.6	▲13.5	▲19.2	▲21.8	▲17.9	▲10.5

《採算DI（全産業・前年同月比）の推移》



(参考)

資金繰りDI（前年同月比）の推移

	16年 10月	11月	12月	17年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
全産業	▲13.0	▲13.0	▲10.6	▲11.8	▲12.2	▲9.3	▲10.3
建設	▲9.0	▲5.7	▲5.1	▲8.2	▲6.0	▲3.5	▲8.9
製造	▲9.9	▲10.6	▲12.1	▲10.5	▲11.5	▲7.7	▲7.2
卸売	▲6.0	▲11.3	▲2.4	▲8.9	▲5.5	▲4.2	▲5.5
小売	▲24.7	▲23.5	▲23.5	▲21.5	▲22.5	▲20.2	▲19.6
サービス	▲12.1	▲12.1	▲5.3	▲8.5	▲11.2	▲7.8	▲8.7

DI = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

【前年同月比DI】全産業合計の資金繰りDIは▲9.3と、前月から改善。産業別にみると、全業種で改善した。

【先行き見通しDI】全産業合計の先行き見通しは、今月と比べ、悪化の見込み。産業別にみると、建設業、卸売業で悪化、その他3業種ではほぼ横ばいの見込み。

仕入単価DI（前年同月比）の推移

	16年 10月	11月	12月	17年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
全産業	▲20.9	▲25.6	▲28.0	▲26.8	▲25.9	▲29.7	▲28.7
建設	▲14.6	▲21.9	▲22.4	▲24.6	▲27.4	▲33.5	▲31.1
製造	▲10.1	▲14.3	▲19.5	▲21.6	▲23.8	▲28.2	▲33.2
卸売	▲26.6	▲33.1	▲31.0	▲27.5	▲21.6	▲28.5	▲30.9
小売	▲23.9	▲30.4	▲29.2	▲25.9	▲25.7	▲26.4	▲23.2
サービス	▲30.7	▲32.6	▲38.2	▲34.1	▲29.5	▲32.4	▲26.0

DI = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

【前年同月比DI】全産業合計の仕入単価DIは▲29.7と、前月から悪化。産業別にみると、小売業でほぼ横ばい、その他の4業種で悪化した。

【先行き見通しDI】全産業合計の先行き見通しは、今月と比べ、改善の見込み。産業別にみると、建設業、小売業、サービス業で改善、その他の2業種では悪化する見込み。

従業員DI（前年同月比）の推移

	16年 10月	11月	12月	17年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
全産業	16.8	16.9	18.1	17.6	18.2	19.4	18.8
建設	19.7	22.8	20.7	23.7	22.2	21.2	21.1
製造	5.5	7.2	8.1	8.6	6.3	8.5	8.3
卸売	10.7	10.0	9.5	8.3	13.5	14.5	17.0
小売	26.0	20.6	24.0	24.1	25.0	26.6	23.2
サービス	21.2	23.3	25.6	21.4	23.8	25.6	25.4

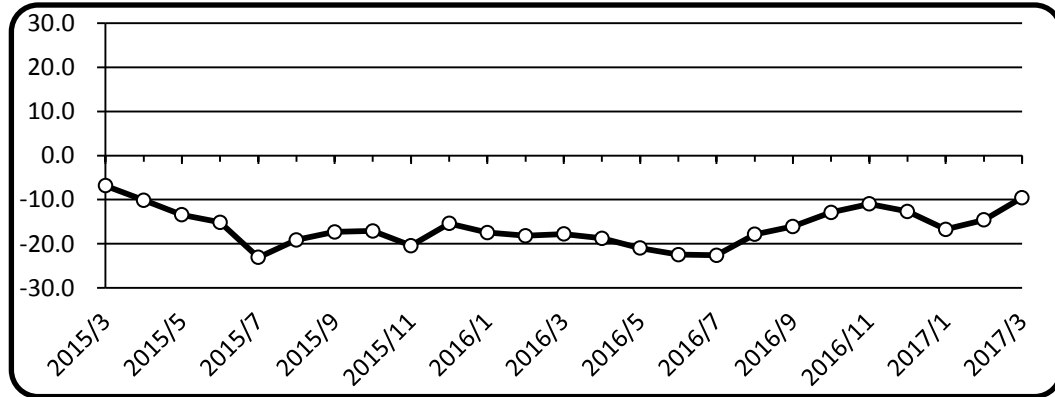
DI = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

【前年同月比DI】全産業合計の従業員DIは19.4と、前月から人手不足感が強まった。産業別にみると、建設業で人手不足感が弱まり、その他の4業種では人手不足感が強まった。

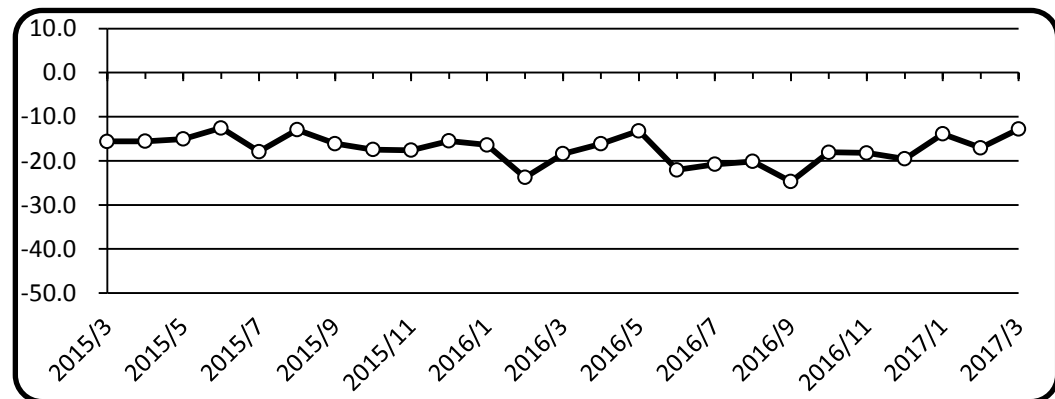
【先行き見通しDI】全産業合計の先行き見通しは、今月と比べ、ほぼ横ばいの見込み。産業別にみると、小売業で人手不足感が弱まり、卸売業で人手不足感が強まる見込み。その他の3業種ではほぼ横ばいの見込み。

業況DI（前年同月比）の推移（全国）

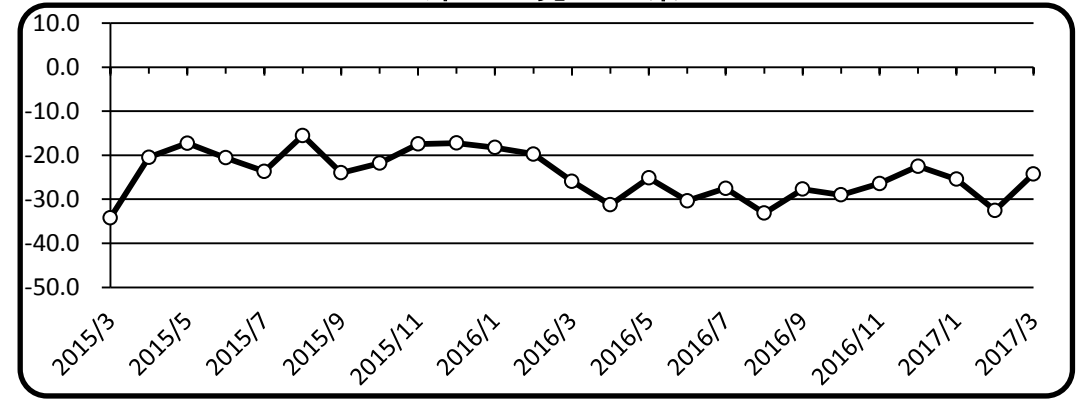
建設業



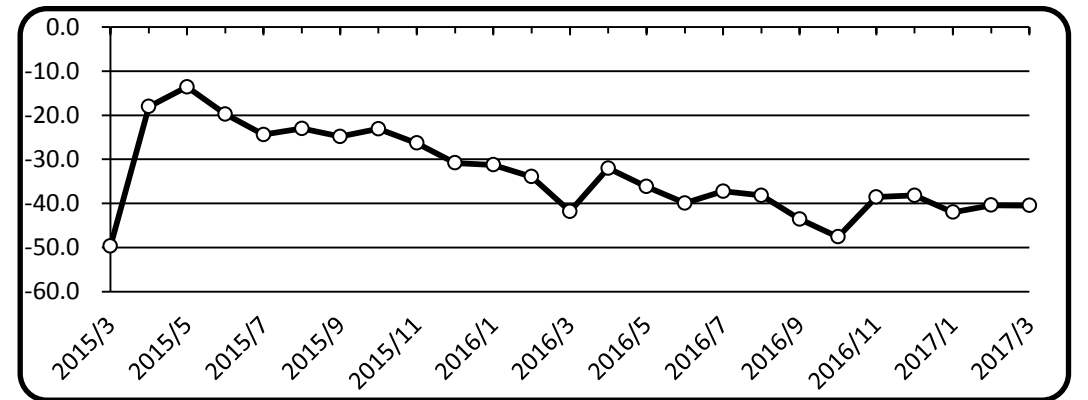
製造業



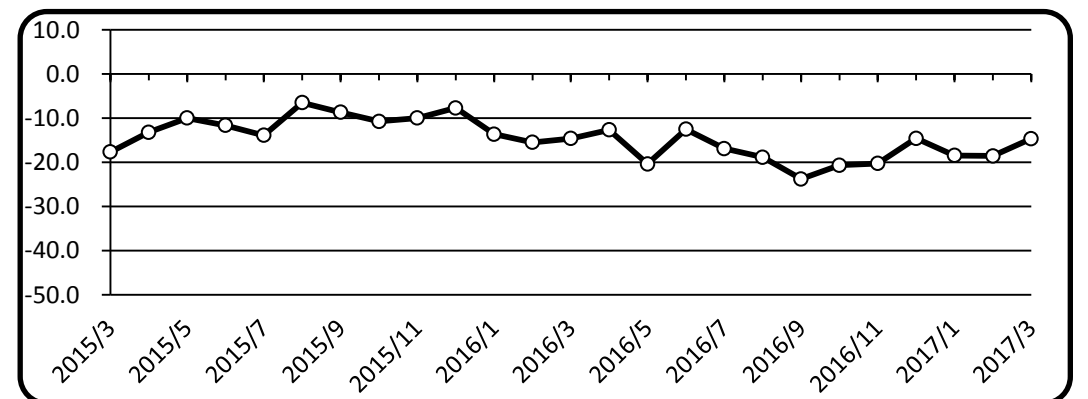
卸売業



小売業



サービス業



【ブロック別概況・北海道】

- 全産業の業況DIは、前月と比べ改善。産業別にみると、小売業で悪化、その他の4業種で改善した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。
- 「前月から引き続き、フル生産となっており、売上は好調。安全・安定操業に注力し、今後もこの売上进行を維持したい」（製鉄業）、「冬物処分のセールを実施するも、消費者の節約志向から、一人当たりの単価が前年に比べて減少し、売上は悪化した。春物商戦に期待しているが、売上拡大は難しい見込み」（百貨店）、「外国人、国内旅行者数ともに堅調で、売上は安定している。今後は設備投資を実施し、生産性の向上、おもてなしの向上に努めていく」（宿泊業）
- 業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べほぼ横ばいの見込み。産業別にみると、卸売業、サービス業で悪化、その他の3業種で改善する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	16年 10月	11月	12月	17年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
業況	▲ 20.2	▲ 26.0	▲ 21.6	▲ 20.7	▲ 28.4	▲ 22.0	▲ 21.2
売上	▲ 17.0	▲ 27.1	▲ 24.5	▲ 23.9	▲ 27.4	▲ 22.2	▲ 29.7
採算	▲ 18.1	▲ 14.6	▲ 16.7	▲ 16.5	▲ 22.3	▲ 21.3	▲ 22.3
資金繰り	▲ 8.6	▲ 6.3	▲ 10.9	▲ 13.2	▲ 12.6	▲ 10.2	▲ 14.6
仕入単価	▲ 21.3	▲ 21.9	▲ 27.5	▲ 27.5	▲ 24.5	▲ 30.8	▲ 33.0
従業員	22.3	15.6	19.6	14.1	25.3	18.7	18.4

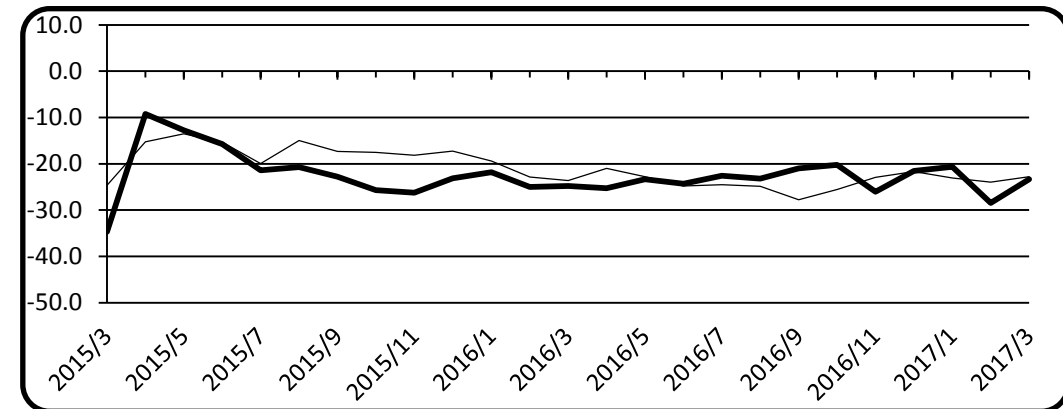
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	16年 10月	11月	12月	17年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
建設	▲ 18.2	▲ 15.0	▲ 4.5	▲ 8.7	▲ 17.4	▲ 12.0	▲ 4.2
製造	▲ 15.0	▲ 18.2	▲ 28.6	▲ 22.2	▲ 36.8	▲ 25.0	▲ 21.1
卸売	▲ 66.7	▲ 20.0	▲ 14.3	▲ 16.7	▲ 14.3	11.1	▲ 11.1
小売	▲ 42.1	▲ 38.1	▲ 41.7	▲ 38.1	▲ 34.8	▲ 56.0	▲ 50.0
サービス	0.0	▲ 32.1	▲ 14.3	▲ 16.7	▲ 30.4	▲ 10.0	▲ 14.3

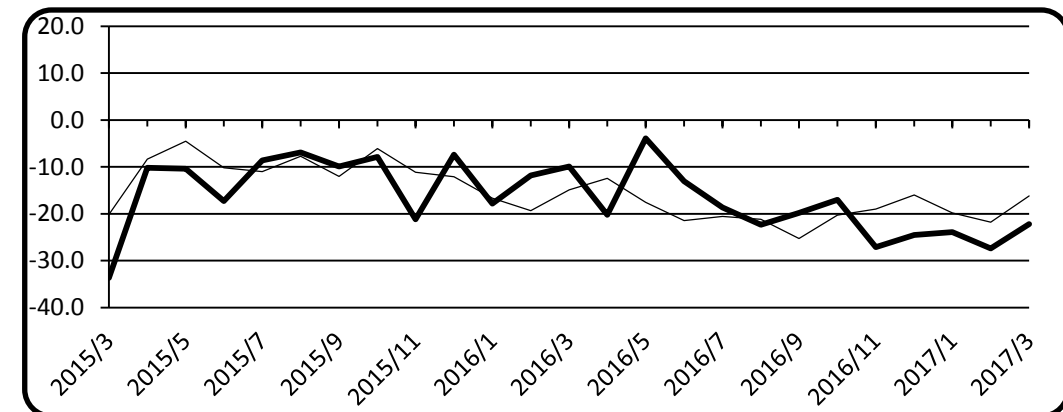
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北海道）

—— 北海道 —— 全国

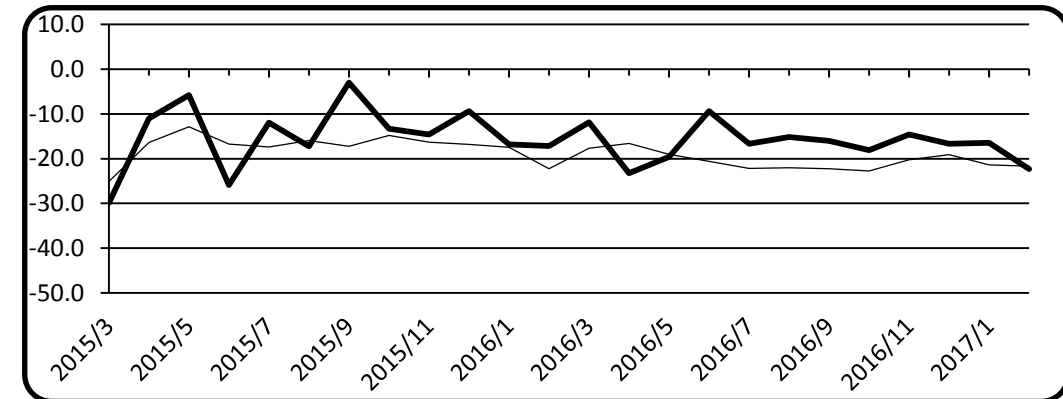
業況



売上



採算



【ブロック別概況・東北】

- 全産業の業況DIは、前月と比べほぼ横ばい。産業別にみると、製造業、卸売業で改善、サービス業でほぼ横ばい、その他の2業種で悪化した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。
- 「東日本大震災関連工事や住宅建築に一服感が見られる。発注数が減少し、売上は悪化した」（一般工事業）、「例年受注が増える時期であることに加え、自動車やスマートフォン関連からの引き合いも好調で、売上は改善した」（プラスチック加工業）、「前年に比べ暖かいこともあり、客足が好調。送別会の予約も多く、売上は改善した」（飲食業）
- 業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ改善の見込み。産業別にみると、建設業で横ばい、その他の4業種で改善の見込み。

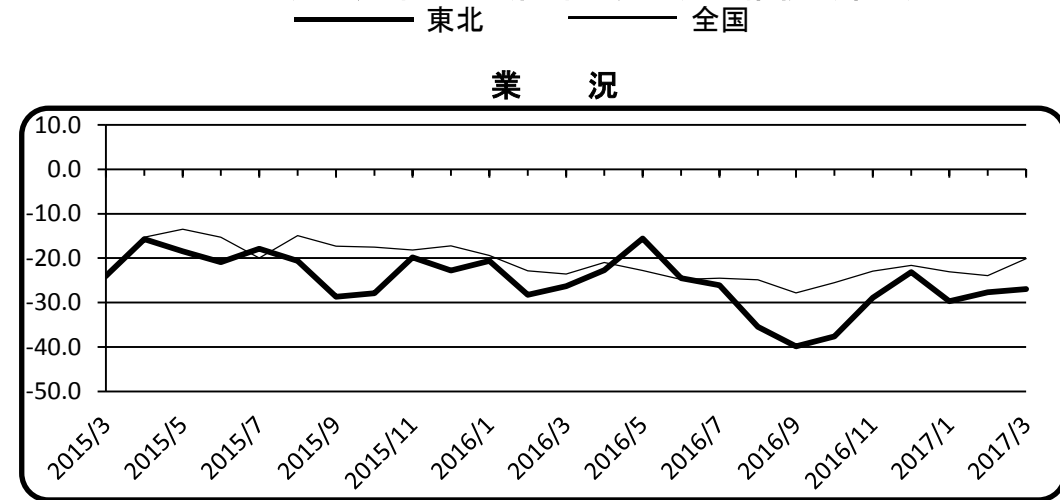
全産業DI（前年同月比）の推移

	16年 10月	11月	12月	17年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
業況	▲ 37.6	▲ 28.9	▲ 23.1	▲ 29.7	▲ 27.7	▲ 27.0	▲ 21.3
売上	▲ 33.6	▲ 21.9	▲ 28.1	▲ 25.7	▲ 33.6	▲ 34.0	▲ 17.7
採算	▲ 29.8	▲ 21.9	▲ 19.5	▲ 26.5	▲ 22.1	▲ 24.3	▲ 17.7
資金繰り	▲ 22.8	▲ 12.5	▲ 12.9	▲ 14.2	▲ 20.0	▲ 17.1	▲ 11.4
仕入単価	▲ 25.6	▲ 32.0	▲ 31.3	▲ 28.4	▲ 25.4	▲ 31.2	▲ 28.4
従業員	13.6	19.5	16.4	21.1	15.3	19.9	18.0

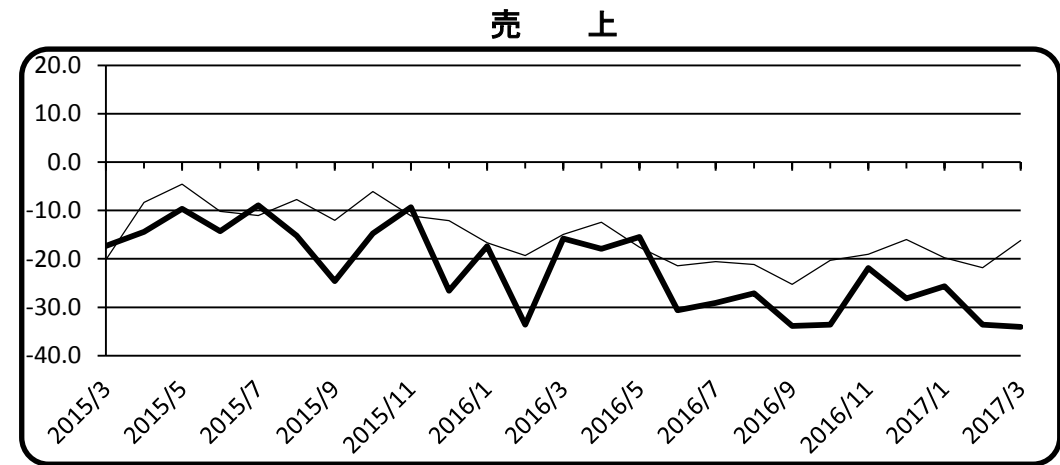
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	16年 10月	11月	12月	17年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
建設	0.0	0.0	4.5	▲ 8.7	▲ 4.3	▲ 8.7	▲ 8.7
製造	▲ 46.7	▲ 37.5	▲ 16.1	▲ 21.1	▲ 29.0	▲ 21.9	▲ 15.6
卸売	▲ 28.6	▲ 40.0	▲ 47.1	▲ 43.8	▲ 53.3	▲ 41.2	▲ 35.3
小売	▲ 59.4	▲ 46.4	▲ 48.4	▲ 41.9	▲ 35.5	▲ 41.2	▲ 35.3
サービス	▲ 37.0	▲ 20.0	▲ 12.1	▲ 35.0	▲ 23.3	▲ 22.9	▲ 14.3

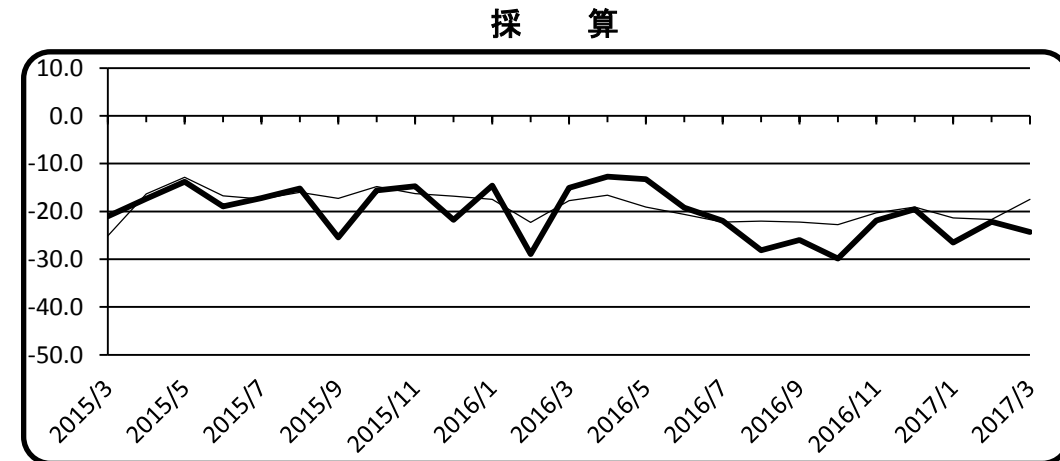
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東北）



業況



売上



採算

【ブロック別概況・北陸信越】

- 全産業の業況DIは、前月と比べほぼ横ばい。産業別にみると、製造業で改善、その他の4業種で悪化した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。
- 「パート・アルバイト不足のため、多くの求人誌に求人募集を掲載した。併せて、時給の引き上げを実施するも、応募が無く、人手不足を解消できない」（飲食業）、「衣料品の需要は昨秋から減少が続いており、売上は回復しない。消費の活性化を望むが、今後も売上は悪化する見通し」（衣料品卸売業）、「取扱い食品がメディアに取り上げられたことで、引き合いは好調。消費者の健康志向が強くなっており、今後も売上の改善が見込める」（調味料製造業）
- 業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ改善の見込み。産業別にみると、製造業、卸売業、サービス業で改善、その他の2業種で悪化する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	16年 10月	11月	12月	17年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
業況	▲ 22.3	▲ 20.7	▲ 23.2	▲ 27.1	▲ 26.7	▲ 27.0	▲ 24.0
売上	▲ 15.7	▲ 13.8	▲ 23.9	▲ 26.6	▲ 21.1	▲ 26.8	▲ 20.7
採算	▲ 25.8	▲ 13.2	▲ 26.8	▲ 26.4	▲ 26.4	▲ 28.1	▲ 27.3
資金繰り	▲ 13.2	▲ 13.0	▲ 14.7	▲ 17.2	▲ 14.0	▲ 10.0	▲ 13.7
仕入単価	▲ 28.6	▲ 27.8	▲ 27.9	▲ 29.1	▲ 32.6	▲ 29.5	▲ 20.7
従業員	9.0	9.6	13.9	16.4	14.6	17.1	20.5

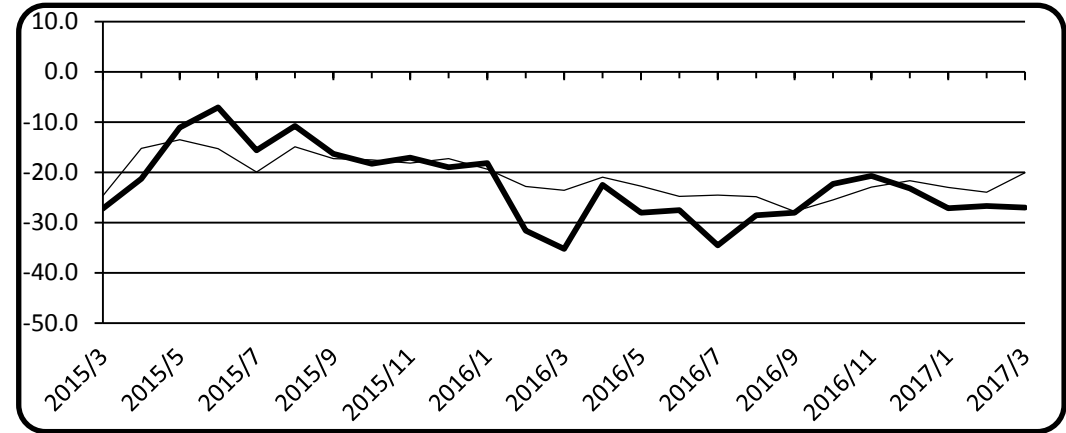
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	16年 10月	11月	12月	17年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
建設	▲ 26.9	▲ 13.0	▲ 21.9	▲ 28.6	▲ 16.7	▲ 20.0	▲ 24.0
製造	▲ 15.2	▲ 25.8	▲ 27.3	▲ 30.3	▲ 27.3	▲ 12.5	0.0
卸売	▲ 28.6	▲ 7.7	▲ 42.9	▲ 15.4	▲ 38.5	▲ 40.0	▲ 30.0
小売	▲ 26.1	▲ 20.8	▲ 18.5	▲ 26.9	▲ 26.9	▲ 37.5	▲ 43.5
サービス	▲ 20.0	▲ 28.0	▲ 15.6	▲ 27.6	▲ 31.0	▲ 35.5	▲ 32.3

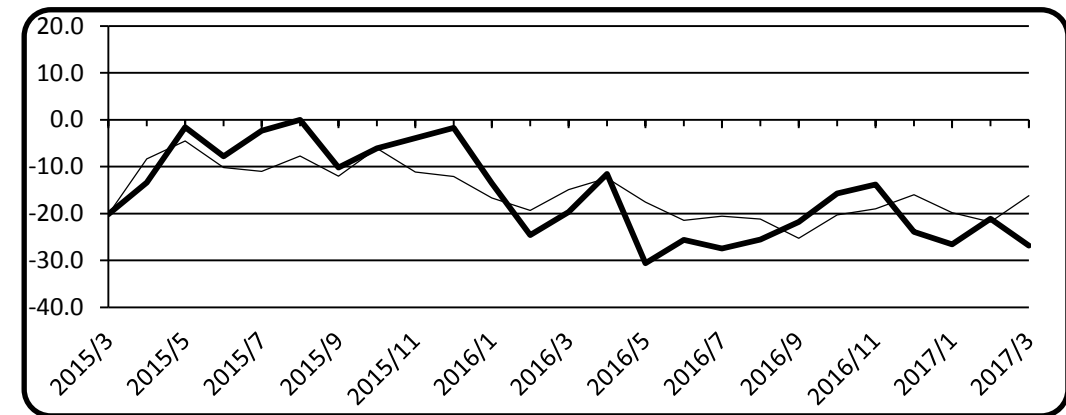
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北陸信越）

—— 北陸信越 —— 全国

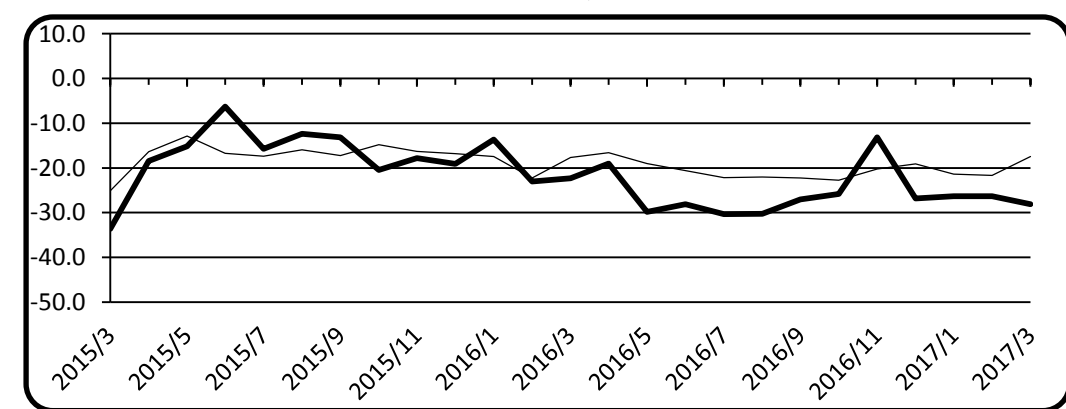
業況



売上



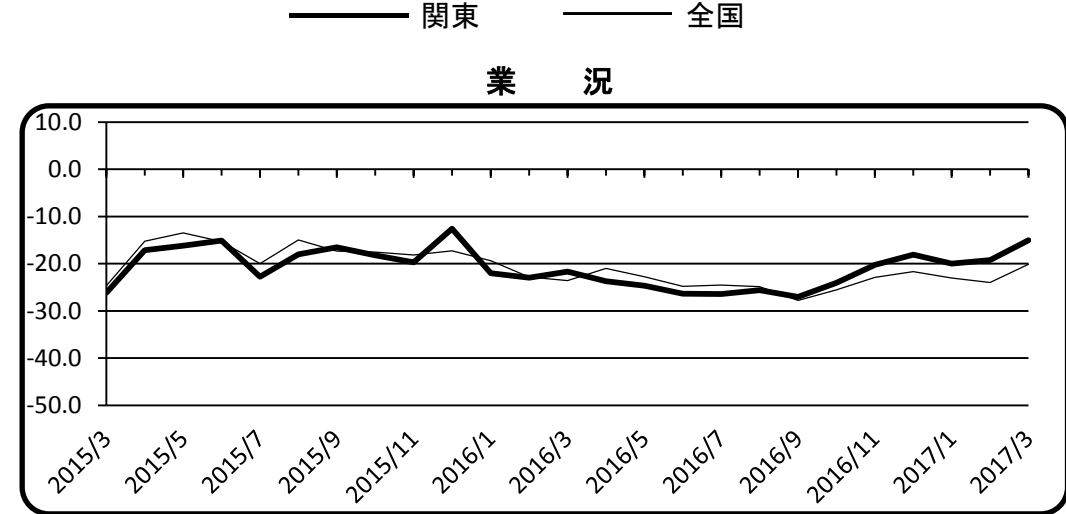
採算



【ブロック別概況・関東】

- 全産業の業況DIは、前月と比べ改善。産業別にみると、卸売業でほぼ横ばい、その他の4業種で改善した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。
- 「東京オリンピックと再開発関連の発注が多く、売上は改善した。各社で技能工を中心に人材の取り合いとなっている。人手不足に対応するため、IoTを用いた生産性向上を検討している」（一般工事業）、「慢性的なドライバー不足で、今以上の売上拡大は難しい。運賃など受注条件を見直し、粗利の改善を優先したい」（運送業）、「広告宣伝や店舗のスクラップアンドビルドが功を奏し、売上は改善した。新工場を建設し、更なる増産体制を整える予定」（食料品製造業）
- 業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ悪化の見込み。産業別にみると、建設業、製造業で悪化、その他の3業種で改善の見込み。

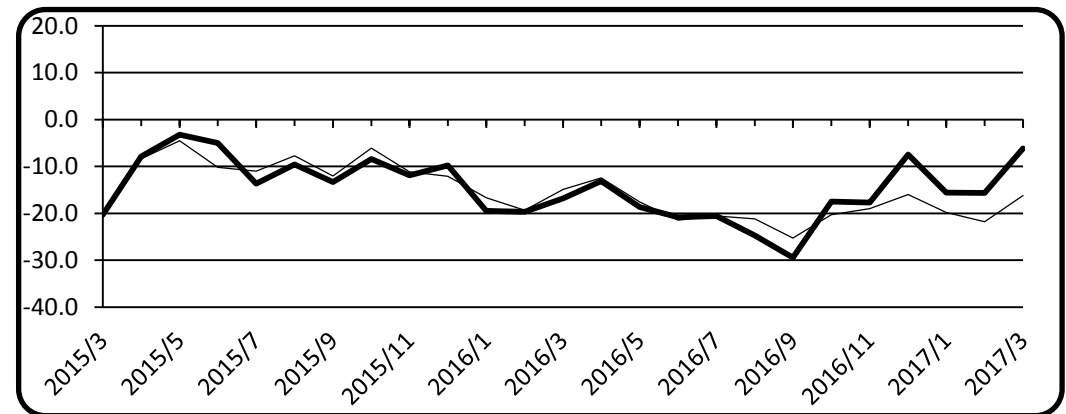
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（関東）



全産業DI（前年同月比）の推移

	16年 10月	11月	12月	17年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
業況	▲ 24.1	▲ 20.2	▲ 18.1	▲ 20.0	▲ 19.2	▲ 15.0	▲ 16.5
売上	▲ 17.5	▲ 17.7	▲ 7.4	▲ 15.6	▲ 15.7	▲ 6.2	▲ 10.7
採算	▲ 21.3	▲ 18.6	▲ 16.7	▲ 20.9	▲ 22.2	▲ 13.3	▲ 15.7
資金繰り	▲ 12.7	▲ 14.0	▲ 9.6	▲ 12.0	▲ 11.3	▲ 6.0	▲ 8.9
仕入単価	▲ 19.5	▲ 26.2	▲ 27.6	▲ 27.1	▲ 25.4	▲ 29.9	▲ 32.8
従業員	17.4	17.0	18.4	14.3	16.5	19.3	18.7

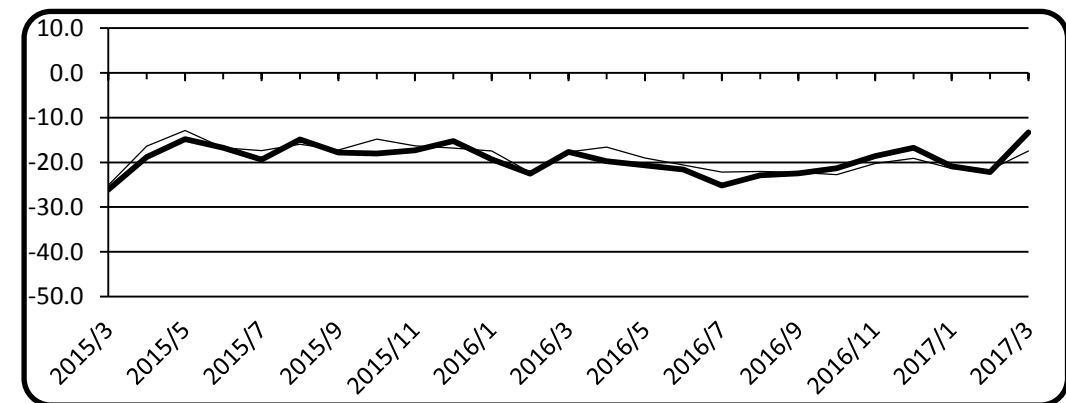
売上



産業別業況DI（前年同月比）の推移

	16年 10月	11月	12月	17年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
建設	▲ 13.0	▲ 5.6	▲ 12.7	▲ 7.2	▲ 14.5	▲ 13.2	▲ 19.4
製造	▲ 6.8	▲ 13.5	▲ 9.1	▲ 11.3	▲ 8.3	▲ 2.8	▲ 13.1
卸売	▲ 28.8	▲ 22.4	▲ 13.3	▲ 27.6	▲ 24.1	▲ 23.2	▲ 21.4
小売	▲ 44.2	▲ 41.1	▲ 35.7	▲ 40.7	▲ 41.4	▲ 34.9	▲ 31.7
サービス	▲ 28.8	▲ 18.4	▲ 19.7	▲ 15.2	▲ 13.0	▲ 8.5	▲ 3.8

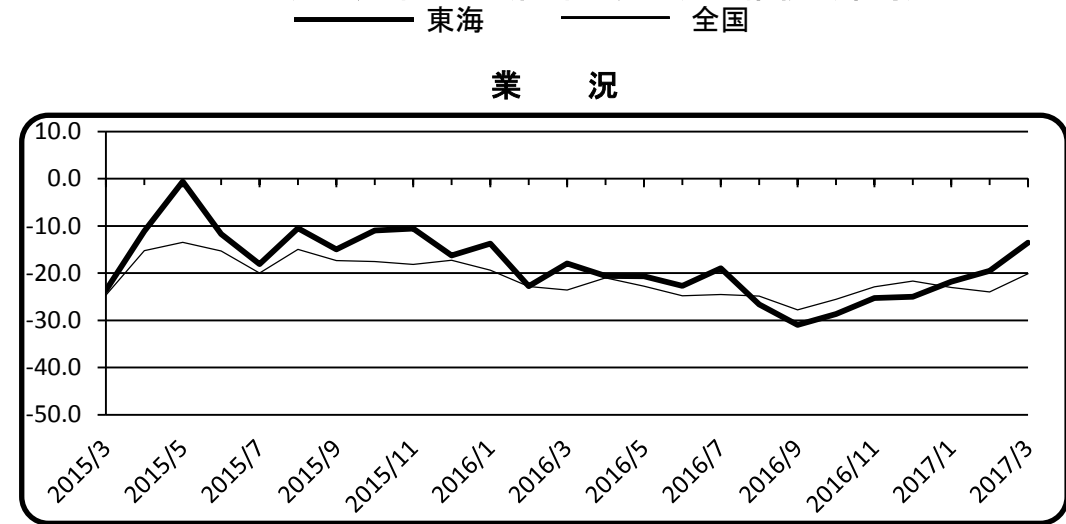
採算



【ブロック別概況・東海】

- 全産業の業況DIは、前月と比べ改善。産業別にみると、小売業で悪化、製造業でほぼ横ばい、その他の3業種で改善した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。
- 「建設工事関連の輸送が増加し、売上は改善した。他方、アルミや鋼材など製造業の原材料関連の輸送は減少してきており、今後の懸念材料となっている」（運送業）、「業務効率化を進めてきたことで売上を維持したまま、時間外労働を削減できた。削減分を賃上げに回し、社員のモチベーション向上を図る」（有線放送業）、「原材料価格が上昇しているため、取引先に転嫁交渉を行ったが、業績悪化を理由に承諾されず、採算は改善しない」（土石製品製造業）
- 業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ悪化の見込み。産業別にみると、卸売業、サービス業で横ばい、その他の3業種で悪化の見込み。

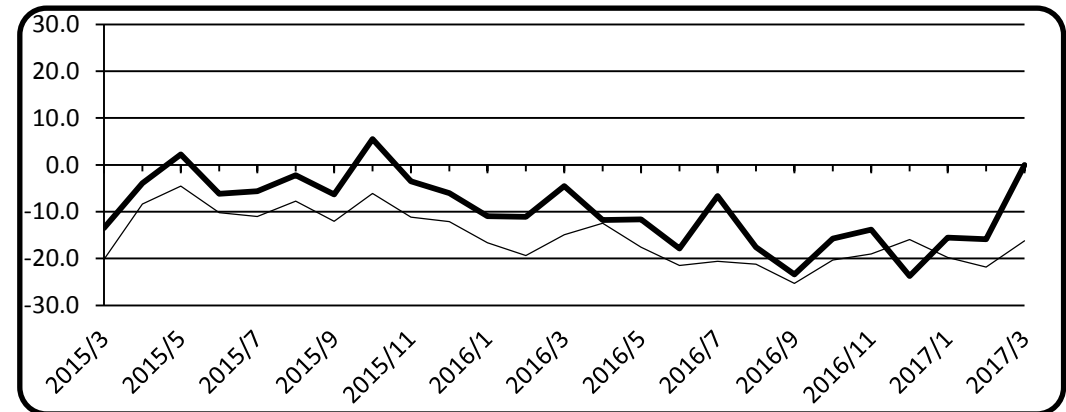
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東海）



全産業DI（前年同月比）の推移

	16年 10月	11月	12月	17年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
業況	▲ 28.7	▲ 25.3	▲ 25.0	▲ 21.8	▲ 19.5	▲ 13.5	▲ 20.0
売上	▲ 15.7	▲ 13.8	▲ 23.7	▲ 15.5	▲ 15.9	0.0	▲ 11.1
採算	▲ 29.1	▲ 31.6	▲ 28.8	▲ 21.4	▲ 15.2	▲ 13.5	▲ 16.4
資金繰り	▲ 9.6	▲ 16.0	▲ 11.8	▲ 10.5	▲ 8.0	▲ 9.4	▲ 9.5
仕入単価	▲ 15.7	▲ 19.9	▲ 23.5	▲ 22.7	▲ 26.1	▲ 27.1	▲ 27.2
従業員	17.5	14.5	16.9	17.8	17.1	19.6	17.4

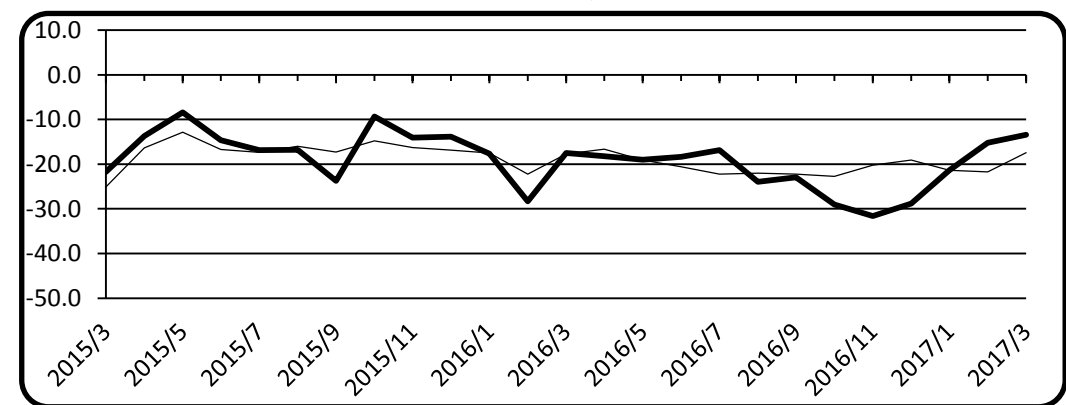
売上



産業別業況DI（前年同月比）の推移

	16年 10月	11月	12月	17年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
建設	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 15.0	▲ 37.5	▲ 17.4	0.0	▲ 16.0
製造	▲ 11.3	▲ 16.1	▲ 17.4	▲ 1.9	▲ 7.7	▲ 7.3	▲ 18.2
卸売	▲ 47.4	▲ 46.7	▲ 40.0	▲ 37.5	▲ 38.9	▲ 33.3	▲ 33.3
小売	▲ 66.7	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 54.8	▲ 43.3	▲ 44.4	▲ 48.1
サービス	▲ 23.1	▲ 23.4	▲ 14.0	▲ 10.2	▲ 9.8	▲ 4.2	▲ 4.2

採算



【ブロック別概況・関西】

○全産業の業況DIは、前月と比べ改善。産業別にみると、サービス業で悪化、小売業でほぼ横ばい、その他の3業種で改善した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。

○「公共工事が増加しており、売上は堅調に推移する見通し。大企業が来年の新卒採用に向けて求人募集を増やしているため、新卒確保には苦戦しそうだ」（土木工事業）、「インバウンド需要が好調で、前月と比べ客単価も増加している。インバウンドを牽引役として今後も売上を維持できる見込み」（百貨店）、「貨物量は多く、売上は増加しているが、ドライバー不足ですべての注文を受けられない。大手運送会社が運賃改定を実施すると報じられたため、当社も運賃改定を視野に入りたい」（運送業）

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ改善の見込み。産業別にみると、建設業で悪化、その他の4業種で改善の見込み。

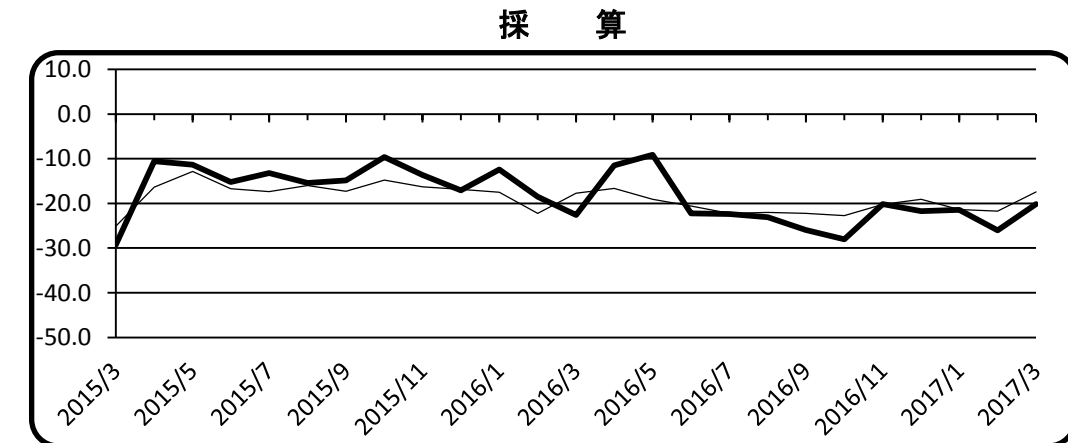
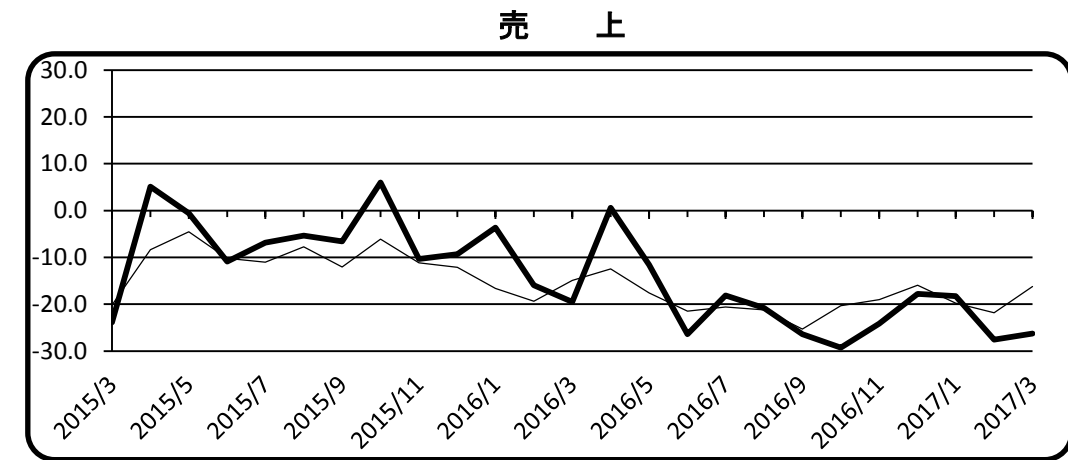
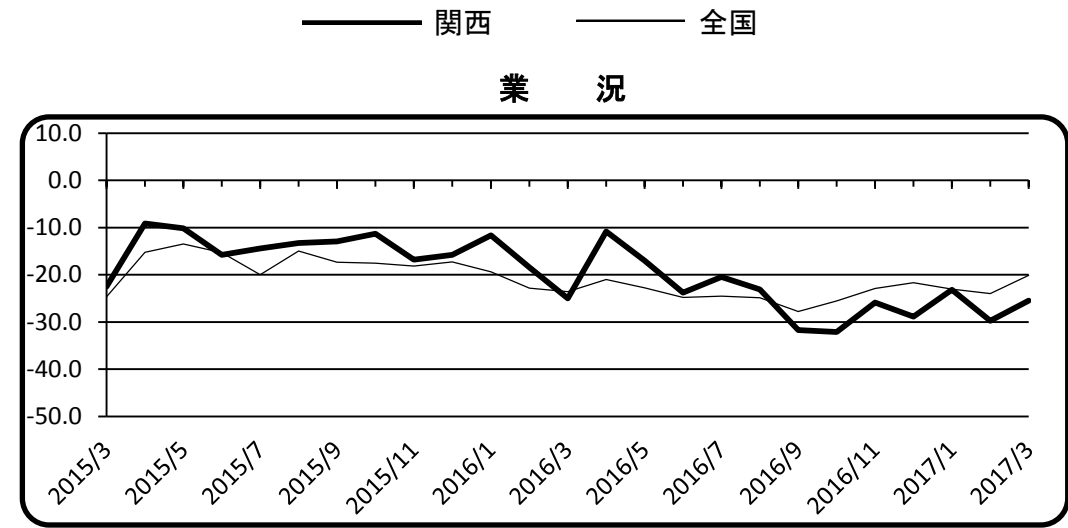
全産業DI（前年同月比）の推移

	16年 10月	11月	12月	17年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
業況	▲ 32.1	▲ 25.9	▲ 28.8	▲ 23.2	▲ 29.7	▲ 25.5	▲ 20.0
売上	▲ 29.3	▲ 24.1	▲ 17.8	▲ 18.3	▲ 27.6	▲ 26.3	▲ 15.7
採算	▲ 28.0	▲ 20.1	▲ 21.7	▲ 21.5	▲ 26.0	▲ 20.1	▲ 12.7
資金繰り	▲ 9.8	▲ 8.9	▲ 9.2	▲ 10.6	▲ 9.8	▲ 8.3	▲ 7.1
仕入単価	▲ 19.5	▲ 25.0	▲ 29.8	▲ 28.6	▲ 24.4	▲ 29.7	▲ 28.0
従業員	18.2	17.1	19.6	18.9	17.8	20.1	20.8

産業別業況DI（前年同月比）の推移

	16年 10月	11月	12月	17年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
建設	4.8	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 14.3	▲ 8.7	9.1	▲ 4.5
製造	▲ 28.2	▲ 11.6	▲ 25.6	▲ 13.2	▲ 22.7	▲ 20.5	▲ 15.4
卸売	▲ 18.2	▲ 31.8	▲ 14.3	▲ 15.4	▲ 44.0	▲ 28.0	▲ 16.0
小売	▲ 64.3	▲ 48.8	▲ 51.2	▲ 46.5	▲ 43.2	▲ 43.9	▲ 31.7
サービス	▲ 29.3	▲ 17.5	▲ 26.3	▲ 16.7	▲ 25.6	▲ 29.4	▲ 24.2

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（関西）



【ブロック別概況・中国】

○全産業の業況DIは、前月と比べほぼ横ばい。産業別にみると、建設業、卸売業、サービス業で改善、その他の2業種で悪化した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。

○「販売先の小売店で冬物衣料が売れず、大量の在庫を抱え込んでしまった。春物衣料の動きも悪く、売上の改善は見込めない」（衣料品製造業）、「インバウンド含む観光客需要が堅調で、売上は改善。旅館が老朽化しているため改修を考えているが、資金繰りが難しい」（宿泊業）、「駅周辺の再開発などは一段落した感はあるが、まだ民間工事は底堅く、売上は堅調に推移している」（一般工事業）

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ改善の見込み。産業別にみると、製造業、小売業、サービス業で改善、その他の2業種で悪化の見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	16年 10月	11月	12月	17年 1月	2月	3月	先行き見通し 4~6月
業況	▲ 21.2	▲ 16.3	▲ 23.2	▲ 30.0	▲ 22.9	▲ 22.7	▲ 17.7
売上	▲ 17.2	▲ 10.9	▲ 12.1	▲ 27.0	▲ 27.1	▲ 22.7	▲ 16.7
採算	▲ 5.1	▲ 17.6	▲ 18.4	▲ 19.2	▲ 13.7	▲ 16.7	▲ 11.6
資金繰り	▲ 12.4	▲ 6.7	▲ 11.3	▲ 14.3	▲ 9.6	▲ 4.2	▲ 11.7
仕入単価	▲ 14.3	▲ 18.0	▲ 34.0	▲ 27.6	▲ 21.3	▲ 26.6	▲ 21.5
従業員	17.2	15.1	15.2	20.0	17.9	18.6	16.8

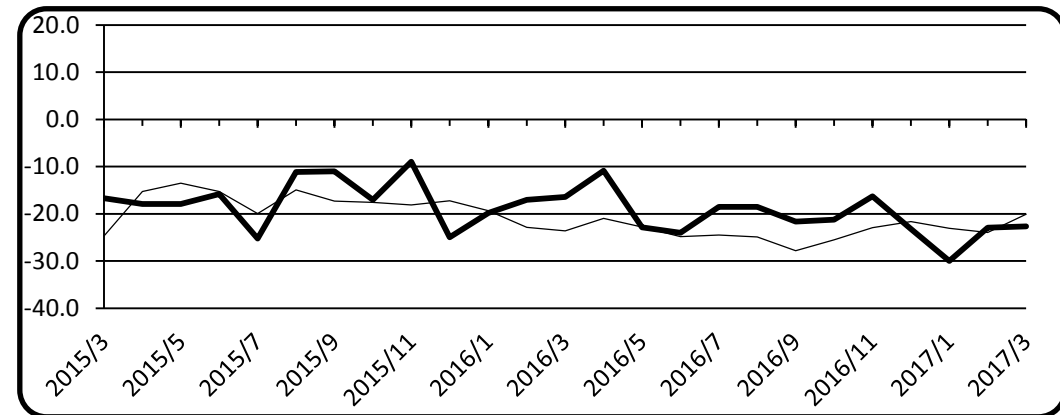
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	16年 10月	11月	12月	17年 1月	2月	3月	先行き見通し 4~6月
建設	0.0	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 18.2	▲ 7.7	16.7	▲ 16.7
製造	▲ 16.1	▲ 3.4	▲ 21.9	▲ 6.3	▲ 10.0	▲ 22.6	▲ 12.9
卸売	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 27.3	▲ 8.3	▲ 33.3
小売	▲ 44.0	▲ 34.8	▲ 38.5	▲ 56.7	▲ 47.8	▲ 52.0	▲ 33.3
サービス	▲ 5.6	▲ 6.3	▲ 22.2	▲ 41.2	▲ 21.1	▲ 17.6	5.9

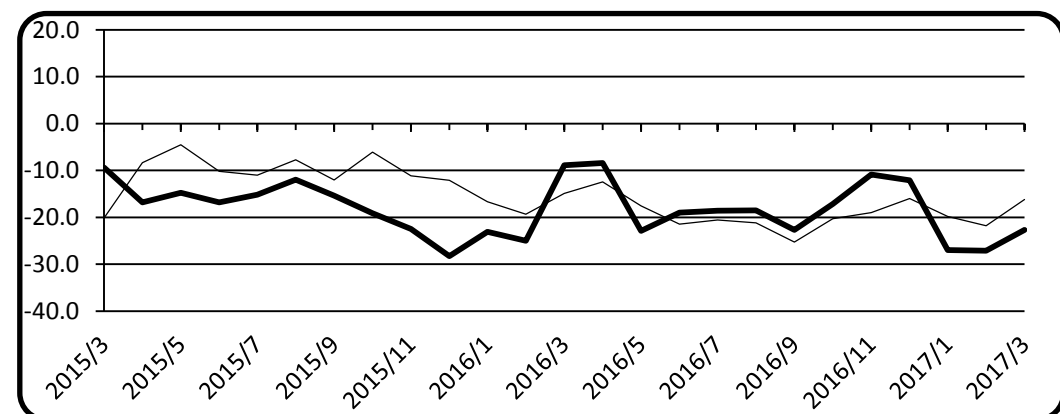
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（中国）

——— 中国 —— 全国

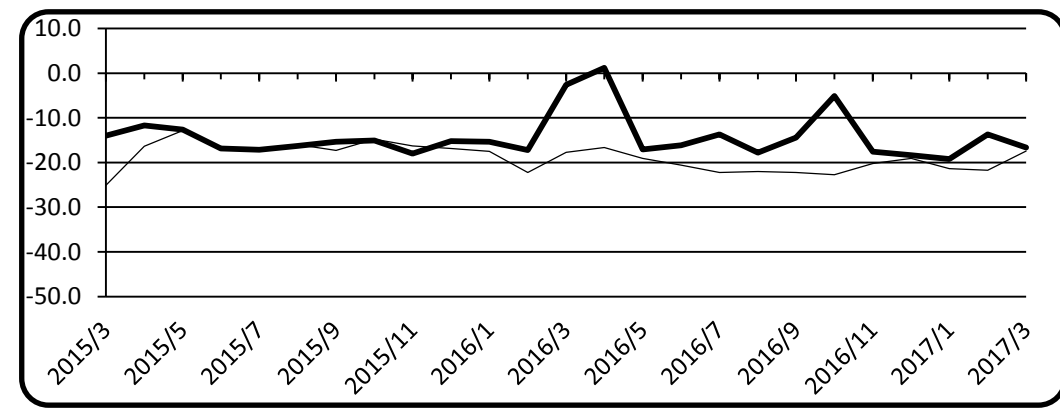
業況



売上



採算



【ブロック別概況・四国】

○全産業の業況DIは、前月と比べほぼ横ばい。産業別にみると、小売業、サービス業で改善、その他の3業種で悪化した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。

○「補正予算により防災関連を中心とした公共工事の発注が始まった。受注を確保できたため、当面は売上の安定が見込める」（土木工事業）、「仕事量は多く、売上は改善している。だが、他社とパート・アルバイトの取り合いとなっているため、時給を引き上げざるを得ず、採算は悪化した」（清掃業）、「海水温の上昇などにより魚介類の漁獲高が減少しており、供給不足で売上は悪化した」（水産物卸売業）

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ改善の見込み。産業別にみると、建設業で悪化、小売業で横ばい、その他の3業種で改善の見込み。

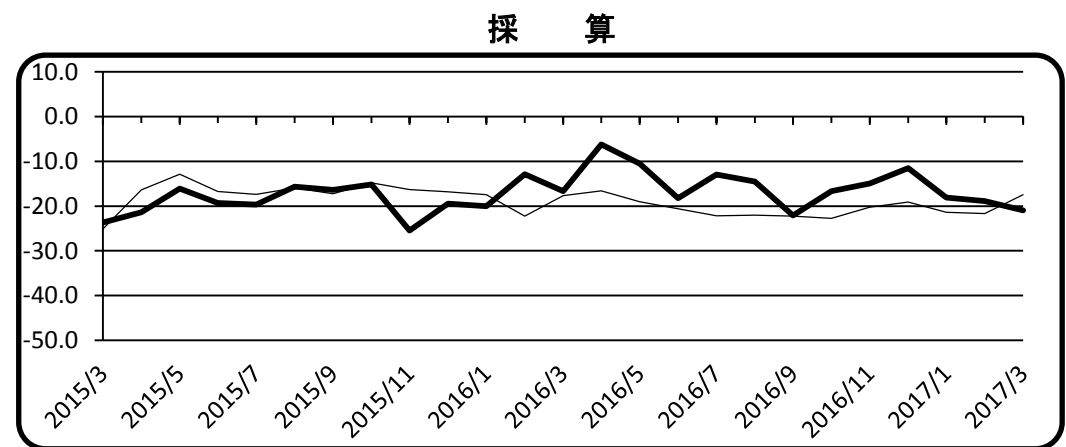
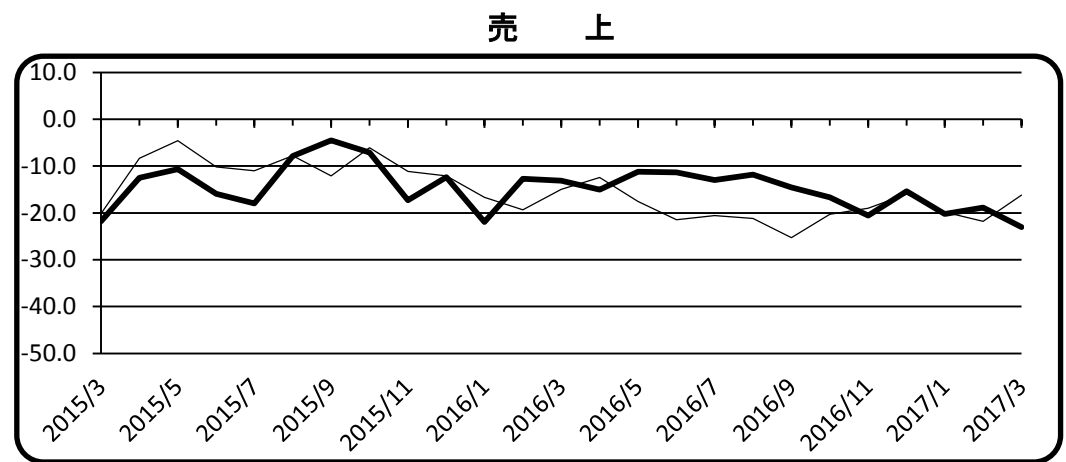
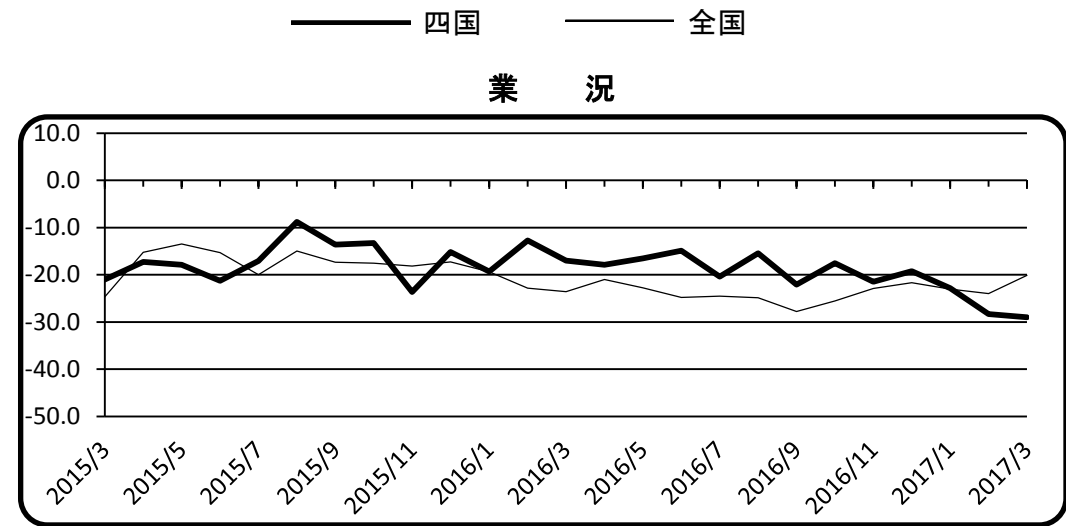
全産業DI（前年同月比）の推移

	16年 10月	11月	12月	17年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
業況	▲ 17.5	▲ 21.5	▲ 19.2	▲ 22.9	▲ 28.3	▲ 29.0	▲ 21.2
売上	▲ 16.7	▲ 20.6	▲ 15.4	▲ 20.2	▲ 18.9	▲ 23.0	▲ 14.1
採算	▲ 16.7	▲ 15.0	▲ 11.5	▲ 18.1	▲ 18.9	▲ 21.0	▲ 18.2
資金繰り	▲ 9.8	▲ 8.4	▲ 1.9	▲ 5.7	▲ 5.7	▲ 7.0	▲ 4.0
仕入単価	▲ 21.1	▲ 26.2	▲ 24.0	▲ 25.7	▲ 31.1	▲ 29.0	▲ 24.2
従業員	15.0	25.5	19.4	22.3	24.8	16.2	13.3

産業別業況DI（前年同月比）の推移

	16年 10月	11月	12月	17年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
建設	▲ 15.0	▲ 23.5	▲ 27.8	▲ 26.3	▲ 35.0	▲ 40.0	▲ 57.1
製造	▲ 32.1	▲ 21.4	▲ 23.3	▲ 15.4	▲ 16.7	▲ 34.6	▲ 23.1
卸売	▲ 9.1	▲ 12.5	▲ 30.0	▲ 27.3	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 20.0
小売	▲ 25.0	▲ 21.4	▲ 20.0	▲ 24.0	▲ 28.6	▲ 15.4	▲ 15.4
サービス	0.0	▲ 23.1	0.0	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 26.1	▲ 4.3

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（四国）



【ブロック別概況・九州】

- 全産業の業況DIは、前月と比べ改善。産業別にみると、建設業でほぼ横ばい、その他の4業種で改善した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。
- 「熊本地震の復興関連工事が増加しているが、人手不足による人件費の上昇や、建材価格の上昇により、採算は改善しない」（建築工事業）、「インバウンド需要のみならず、卒業旅行の宿泊客が増加し、売上は改善した」（宿泊業）、「受注を確保するも、人手不足で社内対応が困難なため、外注費が増大している。従業員のモチベーション向上を図る目的で、賃上げを実施したこともあり、利益率が悪化した」（金属加工機械製造業）
- 業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ悪化の見込み。産業別にみると、小売業で改善、建設業で横ばい、その他の3業種で悪化の見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	16年 10月	11月	12月	17年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
業況	▲ 22.7	▲ 25.0	▲ 18.3	▲ 19.1	▲ 25.0	▲ 12.0	▲ 20.8
売上	▲ 24.5	▲ 25.0	▲ 8.8	▲ 19.3	▲ 25.9	▲ 11.9	▲ 17.0
採算	▲ 24.8	▲ 26.8	▲ 11.9	▲ 19.3	▲ 25.9	▲ 7.9	▲ 17.0
資金繰り	▲ 20.2	▲ 26.8	▲ 13.5	▲ 8.7	▲ 23.1	▲ 18.8	▲ 17.2
仕入単価	▲ 28.4	▲ 32.4	▲ 28.0	▲ 24.6	▲ 23.4	▲ 34.0	▲ 32.3
従業員	20.2	19.6	23.0	21.7	22.4	25.7	25.0

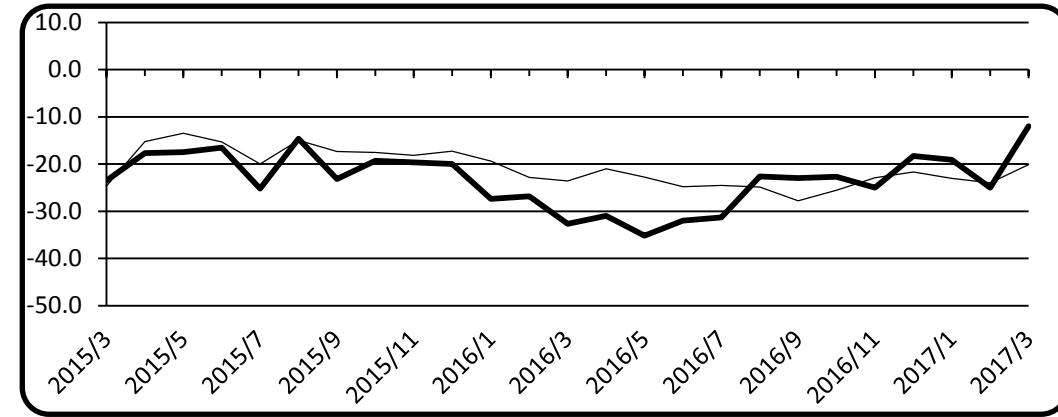
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	16年 10月	11月	12月	17年 1月	2月	3月	先行き見通し 4～6月
建設	▲ 26.7	▲ 7.1	▲ 17.6	▲ 20.0	▲ 6.3	▲ 6.7	▲ 6.7
製造	▲ 21.4	▲ 33.3	▲ 35.5	▲ 20.7	▲ 29.6	0.0	▲ 26.9
卸売	▲ 15.4	▲ 16.7	▲ 13.3	▲ 15.4	▲ 20.0	0.0	▲ 27.3
小売	▲ 45.8	▲ 44.0	▲ 33.3	▲ 42.3	▲ 60.0	▲ 50.0	▲ 41.7
サービス	▲ 6.7	▲ 14.7	9.1	0.0	▲ 3.3	4.2	0.0

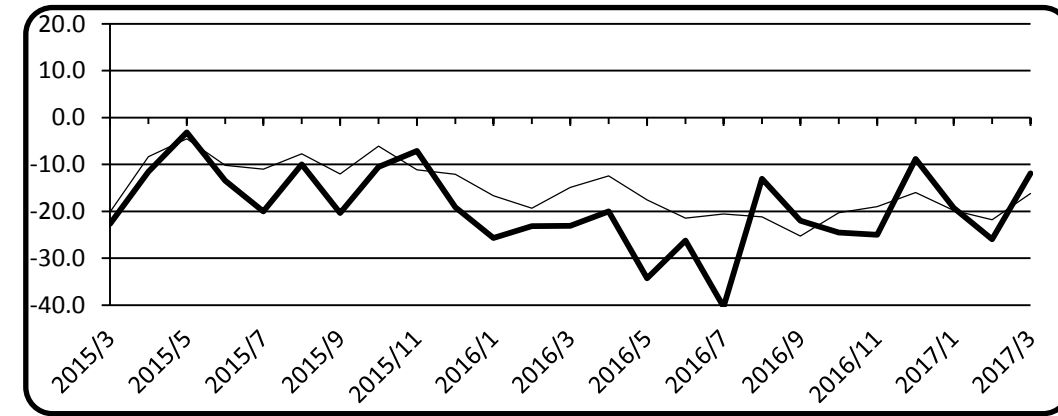
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（九州）

九州 全国

業況



売上



採算

